

芭蕉元禄事業 奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民俳句ポスト

平成二十五年四月度 入選句 (投稿総数千五百二十句・一般投句数八百七十六句)

特選 選者 長野 美代子

なだれ咲く花の真中を舟下り 大垣市 清水 登美子

大垣では桜咲くころ、奥の細道むすびの地でもあり俳句大会が開かれる。
年ごとに桜も早かったり遅かったりで、今年は少し早く嵐のような日であった。城の外堀である水門川は兩岸の桜が川の方へ枝を差し出し、まるでトンネルのよう。掲句は「なだれ咲く」とうまい表現で正にその通りである。水の上を滑るようにゆく舟下りは最高に心地よい。

轉りを聞き分けている大樹かな 大垣市 森 芳昭

作者は樹医であるから掲句が生まれたと思う。擬人句である。空を覆うような大樹であろうから色々な鳥が来ては鳴く。さてこの鳥は何であるかな…中七の「聞き分けている」がいいですね。なんだか心まで大らかになる思いです。

鳥帰る最上階のワインバー 滋賀県大津市 丸岡 正男

どの湖も川も日に日に少なくなり鳥も帰っていったのですね。最上階のワインバーで見送ったのでしょうか。人も鳥になったつもりで一息つくのもいいかな。ほっとする佳句だと思います。

秀逸

鯀洗う亀の子束子水温む 大垣市 横井 義明

轉に包まれてゐる芭蕉像 大垣市 伊藤 京子

嫋やかに霞み脱ぎゆく伊吹山 大垣市 神野 武彦

登校の列の乱れて春一番 安八郡神戸町 高橋 日出美

祝の字を潜りて走る入園児 大垣市 早崎 美弥子

干し物の陽の匂い抱く春隣 大垣市 永井 田鶴子

舟下るたびに波たつ花筏 愛知県豊明市 近藤 美稲

終の地の紙子の肩や花吹雪 東京都中央区 久塚 謙一

水底の石の揺らぎて水温む 大垣市 矢橋 郁子

オレンジのクレール春の空つかむ 大阪府豊中市 中谷 麗夢

入選

流れゆく空風川も桜色
戦乱は遠き世となり城の春
谿しぶく音は四方へ根尾五月
新しき自転車届く初燕
落人と呼ばれし遠祖花の宿
水温み水草川を明るくす
梅林の奥より暮れて星生るる
春泥の靴を並べて遊びござ
ハーピアンぽんと弾けて空は春
川映えり桜薬降る伝馬舟

愛知県名古屋市	舞	映智
愛知県稲沢市	平田	恒男
大垣市	田中	雅子
大垣市	野村	多佳子
東京都世田谷区	関戸	信治
愛知県豊明市	尾崎	恵美子
愛知県尾張旭市	古賀	勇理央
不破郡垂井町	児玉	信子
大垣市	小林	こま
大垣市	不破	英雄

入選

介護する人のぬくもり春一日
今日の事今日で終れり臘月
水明り花明りして川燈台
とねりこの芽吹き解ける孔子像
さえずりを手話で伝える母が子に
春泥を飛びそこねたり老の勘
芽ぶき待つ空広々とありにけり
郷の駅降りれば早やも祭り笛
野火放つ父原人の貌をして
由緒ある看板招く木の芽和

大垣市	川口	千代子
養老郡養老町	宮沢	志きぶ
福井県福井市	高島	松陰
神奈川県藤沢市	大貫	旭子
福井県福井市	三ツ山	しげこ
福井県福井市	三ツ山	ひろし
大垣市	川瀬	幸子
神奈川県藤沢市	門坂	螢
熊本県八代市	貝田	ひでを
瑞穂市	谷	陸海

選者吟

棹しづく水の上より名残り花

美代子